

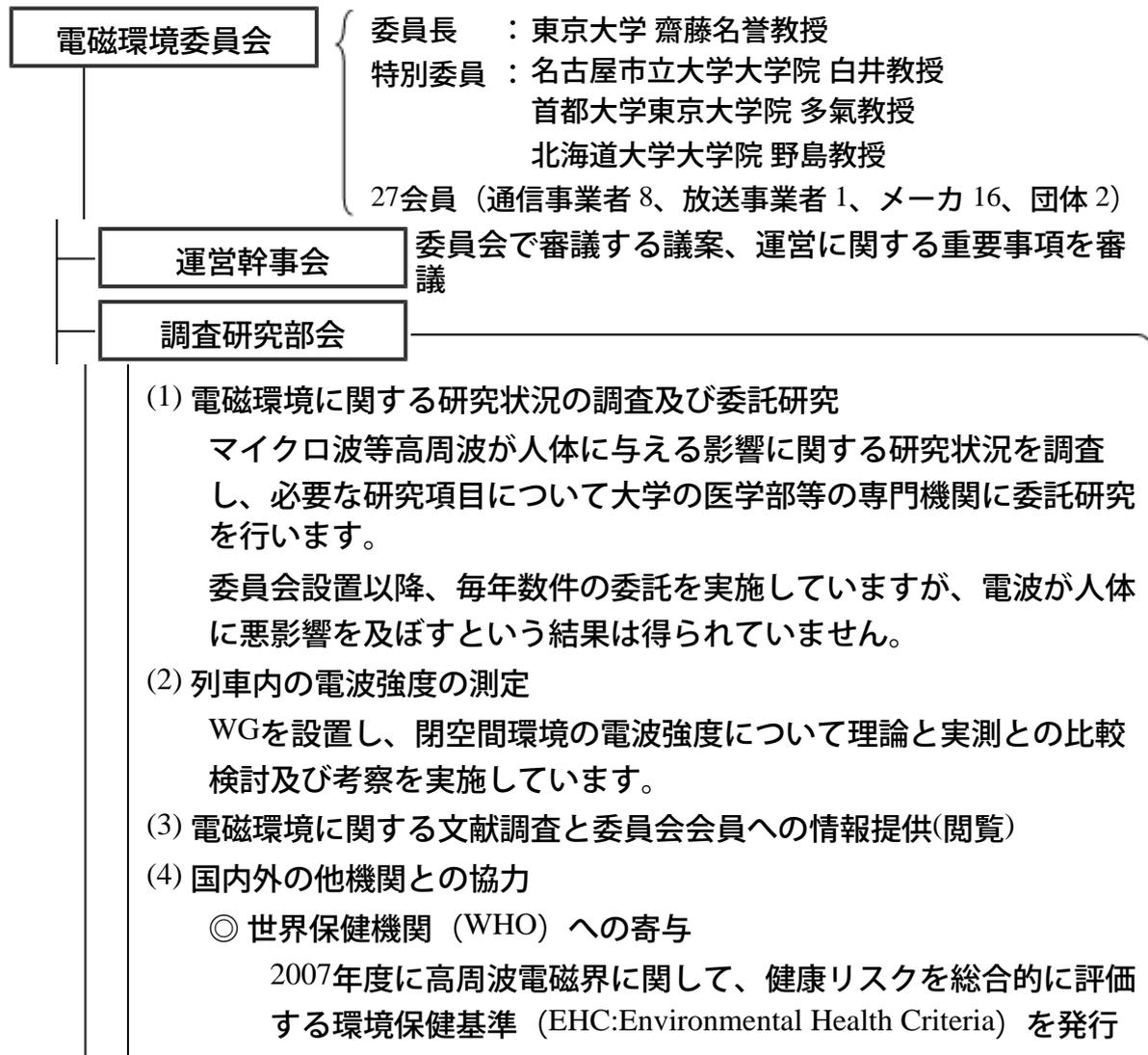
ARIBからの  
お知らせ

ARIBの委員会の活動紹介「電磁環境委員会」

電磁環境委員会は、電磁環境問題（通信・放送分野におけるマイクロ波等高周波の人体への影響等）について恒常的に対応し、電波の利用促進に寄与することを目的としてARIB内に平成9年9月に設置され、活動を続けています。

個々の活動についてはARIBニュース（539号で電波環境解説書）や当会ホームページ（電波環境講演会など）でお知らせしていますが、ここでは、全体の概要を紹介いたします。

<電磁環境委員会の構成と主な事業>



するWHOの国際電磁界(EMF)プロジェクトのデータベースに、委員会の研究結果を登録しています。

◎ MMF (Mobile Manufacturers Forum) との協力

MMFのホームページの日本語訳に協力しています。

## 広報部会

### (1) 電磁環境に関する一般向け講演会の開催

平成18年度は、総務省地方総合通信局と共催で上期に4回実施します(右図)。

下期も4回程度実施予定です。

### (2) 電磁環境に関して、一般環境における安全性、病院等、特殊環境における注意事項を普及啓発する冊子等の発行

平成16年度以降、4冊を発行しています。



身近な電波の科学



電波環境解説書  
(図書館寄贈版)



電波環境解説書  
(一般頒布用)



暮らしの中の電波



### (3) ホームページによる広報

「暮らしの中の電波」 (<http://www.arib-emf.org/>) で広報活動を行っています。

### (4) 本年度は、一般向け講演会等でいただいたご意見をもとに、電波に対する正しい知識を普及させるためのビデオを作成するWGを発足させました。

## ARIBの動き

### 第120回業務委員会が開催される

第120回業務委員会が開催されましたので、その概要をお知らせします。

1 日時 平成18年7月12日(水) 午後2時から4時まで

2 場所 当会第2会議室

#### 3 議事概要

- (1) 専務理事から、ブラジルの地上デジタル放送方式及び移動通信に関する情報通信審議会の活動等の説明がありました。
- (2) 新任委員長及び新委員の挨拶がありました。
- (3) 事務局から、ブラジルの地上デジタル放送方式決定について説明があ

りました。

- (4) 事務局から、ARIBが事務局を務める任意団体の活動状況について説明がありました。
- (5) 事務局から、アナログ周波数変更対策業務について、一般受信者向けの受信対策の状況、送信設備に係る給付業務の状況及び平成18年7月中に受信対策をする地域について報告がありました。
- (6) その他  
事業スケジュールについての説明がありました。

## 電気通信・放送 行政の動き

特集テーマは「ユビキタスエコノミー」  
平成18年「情報通信に関する現状報告」（情報通信白書）が公表される  
(平成18年7月4日付け総務省報道発表より)

総務省は7月4日、平成18年「情報通信に関する現状報告」（平成18年版情報通信白書）について公表しました。

情報通信白書は、我が国の情報通信の現況、情報通信の政策の動向について、国民の理解を得ることを目的として、総務省が昭和48年から毎年作成しており、今回で34回目となります。

今回の白書では、「ユビキタスエコノミー」を特集テーマとし、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」簡単にネットワークにつながり、情報の自在なやりとりを行うことができるユビキタスネットワークの進展が我が国の社会経済システムに与える影響等について、調査、分析を行っています。

### <公表方法>

#### ○ 出版

A4カラー刷りの冊子（CD-ROM添付、2,700円〔税込み〕）。（主要書店、政府刊行物サービスセンター及び官報販売所において、7月5日（水）から発売

#### ○ 総務省ホームページ (<http://www.soumu.go.jp/>) への掲載

- 1) 日本語（全文及び概要(PDF)）7月4日から掲載。
- 2) 英語（要旨及び概要(PDF)）7月中を目途に掲載予定。
- 3) 小中学生向け「情報通信白書for Kids」（8月中を目途に更新予定）

なお、詳細は<[http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/060704\\_1.html](http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/060704_1.html)>を参照ください。

<報道発表資料 別添から抜粋>

# 特集テーマ「ユビキタスエコノミー」

## 1 目的

- 我が国は、人口減少、少子高齢化をはじめとする社会経済環境の変化に伴い、様々な社会生活・経済活動上の問題に直面する。
- そのため、ユビキタスネットワークの進展が、我が国の社会経済システムを変革し、経済活力を創生するメカニズムについて検討する。

※「ユビキタスネットワーク」:いつでも、どこでも、ネットワーク、端末、コンテンツ等を自在に安心して利用できる情報通信ネットワークであり、利用者の生活領域にまで広く浸透することに特色。

※「ユビキタスエコノミー」:ユビキタスネットワークの進展により生じる社会経済の特質

## 2 ポイント

### 『ユビキタスエコノミー』

#### (1) ユビキタスネット社会実現に向けた経済パフォーマンス (マクロレベル)

- 情報通信産業は、情報通信製造業を中心に次第に回復力を強めており、また、実質GDPの変化に対する寄与度は高い。
- 他方、各産業の情報通信資本ストックの深化は進んでいるが、生産性の向上はまだまだ顕在化していない。
  - ユビキタスネットワークの進展による影響は、まずは次のミクロレベルの社会経済活動で顕在化し、その後マクロレベルに波及するものと考えられる。

#### (2) ユビキタスネットワークによる社会経済活動への影響 (ミクロレベル)

##### ①多様な情報流通社会の実現

通信・放送融合の進展により、利用者ニーズの拡大等が期待される。また、Web 2.0等の新潮流により、ロングテール現象(小規模で多様な需要が取引として実現すること)等が生じたり、ブログ、SNS(ソーシャルネットワークサービス)等の消費者発信型メディアの台頭により、多様な知識、意見等の社会への提供、還元が促進される。

##### ②情報ミスマッチの解消

インターネット広告、ポータルサイト、検索エンジン等の進展により、情報供給者と情報需要者のミスマッチが解消され、利用者の満足の向上、企業の競争力強化、市場の効率化等が図られる。

##### ③社会の生産性、人的資本力の向上

オープンソース化に見られるように、ネットワーク化の進展は、知識の集積や知識に基づく協働(コラボレーション)を容易にし、社会全体の生産力を向上させる可能性がある。また、企業ICT化の進展に伴い、獨創性や希少価値を生み出すスペシャリストに対する労働需要が高まる。

## 編集後記

- 今回は紙面に余裕があったのでARIB内の委員会紹介記事を組みました。今後、他の委員会も紹介する予定でいます。なお、ARIBニュースに記載する記事について要望がありましたら、企画国際部(03-5510-8592)までご連絡ください。
- 企画国際部(のうちの3人)で電波産業年鑑の編集の事務局を担当していますが、情報通信白書を参考にしているため、例年この時期は白書の閣議決定の日を確認して、発行と同時に購入します。今年は昨年より1週間ほど早く発行され、編集作業にも1週間の余裕がうまれ喜んでいきます。3人のうち1名は新人ですが、CEATEC出展準備と併行して順調にすすめている頼もしいメンバです。この新人は、ARIBニュースには次号でデビューします。
- シャルル・アズナブルというシャンソン歌手の「ラ・ボエーム」とい

う曲が好きで、意味をよく分からないまま、35年以上聞き続けています。他にもいい曲は沢山あります。フランスでは有名な歌手にも拘わらず日本ではそんなにポピュラーではありませんが、元ARIBパリ分室の日本女性職員の方も、この曲が大好きとおっしゃっていたので、それなりに日本人ファンもいるようです。彼が元気なうちにパリに行ってライブを聞きたいと思っていた時期がありましたが、今はあきらめています。

(La boheme)

[ページの先頭に戻る ▲](#)